

(臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究に対して「●対象となる患者さん」に該当する方へ研究へのご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

当院における肺高血圧症合併の消化器外科手術の臨床学的検討

[研究責任者]

外科 医師 伊達 慶一

[研究の背景]

肺動脈とは心臓の右心室から肺に血液を送る血管です。肺高血圧症とは、その肺動脈の血管内腔が何らかの原因で狭くなることにより、血液が通りにくくなり、肺動脈の血圧(肺動脈圧)が高くなる病気です。当院では国内でも有数の症例数、治療成績を有し、カテーテル治療や薬剤治療により予後の改善を認めています。その過程で消化器疾患を発症し、当院で手術を行っている患者様はいらっしゃいます。

[研究の目的]

当院の治療成績がいいとはいえ、肺高血圧症合併の消化器手術はリスクが高い状態です。そこで、過去の手術症例から臨床情報を解析し、今後どのような治療が最適かを検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肺高血圧症を合併していた患者さんで、西暦 2006 年 1 月 1 日から西暦 2022 年 12 月 31 日の間に消化器外科手術を受けた方

●研究期間

西暦 2023 年 11 月 1 日から西暦 2025 年 4 月 1 日

●利用する検体、カルテ情報

検 体：特になし

カルテ情報：年齢、性別、診断名、手術名、手術部位、緊急手術の有無、入院日数、術後合併症の有無、Clavien-Dindo 分類に基づく術後合併症の有無

●検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、研究費は用いず実施されます。しかしこの研究における当院の研究者の利益相反^{*}については、当院の研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。

^{*}外部との経済的な利益関係等によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないと第三者から懸念されかねない事態のこと。

[研究の参加について]

この研究実施への参加や途中での参加中止は、あなたの自由な意思で決められます。

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構岡山医療センター

外科 伊達慶一

電話 086-294-9911（代表）